自治と連携を育み、新しい都市像を開く予算

一十四年度予算を可決

般会計は五百五十六億円

案は、三月十三日の本会議で、

同日設

心とした平成二十四年度の各会計予算 般会計五百五十六億五千万円を中

別委員会に付託されました。

同委員会では十三日に正副委員長が

置された十二名の委員から成る予算特

東京都武蔵野市緑町 2-2-28 TEL 0422-60-1883

CONTENTS ●代表質問・施政方針 ……… 2-3面 予算特別委員会審査概要

概要の報告がありました。その後、報

告に対する討論が行われ、個別採決の

結果、平成二十四年度一般会計、

0422-55-7555

計の四特別会計、および水道事業会計

ます(三面に施政方針、二・三面に代 可決されました。 企業会計)の各予算は、全会一致で し、各種事業が実施されることとなり これによって市政運営の大枠が確定 四・五面に予算特別委員会審

なお、各予算案の採決に続き、平成

致で可決されました(付帯決議の内容 決議が提出され、採決の結果、全会一 一十四年度一般会計予算に関する付帯

雨水利活用条例を可決

蔵野市雨水の地下への浸透及び有効利 可決されました。 用の推進に関する条例」が全会一致で て、同十三日の本会議において、「武 三月八日の建設委員会の審査を経

されたほか、議案第二十三号平成二十四年度武蔵野市一般会計予算に関する

付帯決議など計四件の議員提出議案が可決されました。

質問、および十三人の議員による一般質問が行われました。議案では、平成

第一回定例会は、二月二十二日から三月二十七日まで開催されました。 今議会では、市長による施政方針演説と、これに対する七人の各会派代表

|十四年度武蔵野市一般会計予算をはじめ、三十一件の市長提出議案が可決

もに、建物の新築等の際に雨水排水計 どによるヒートアイランド現象の緩和 け、雨水浸透施設の設置及び貯留槽等 市民および事業者の責務を定めるとと や都市型水害等を防止するため、 による雨水の利活用を推進するもので 画の届け出をすることなどを義務付 水が地下へ浸透しにくくなったことな 本条例は、都市化の進展に伴い、 本年十月一日です。 巿

たって各予算案の審査が行われました。 互選された後、十四日から五日間にわ 算特別委員長より委員会における審査 二十七日の本会議では、与座

蔵野市介護保険条例の一部を改正する す。これにより、基準月額は、 期間の新たな保険料等を定めるもので 六年度までの第五期介護保険事業計画 条例」が賛成多数で可決されました。 本条例は、平成二十四年度から二十 、同十三日の本会議において、「武三月七日の厚生委員会の審査を経

後期高齢者医療会計・介護保険事業会 道事業会計・国民健康保険事業会計・

百円から五 います。 間には、 月額は五千五百五十六円となります ら必要な保険料額を算出すると、 護看護、 認定者の生活を支える地域密着型 整備されます。これらの給付見込み ビス 介護給付費等準備基金の取り崩 (定期巡回 在宅の認知症高齢者や要介 千百六十円になります。 小規模多機能型居宅介護 ・随時対応型訪問





「お友達」

撮影:新保 義夫(武蔵野市) 場所:市営陸上競技場 (2012.4.10)

満開の桜の木の下、2人で何を話しているのかな、仲のよい お友達なのかな。一生懸命絵を描いていました。

問 消費税十%の実施は市民と考えるが、市長の見解は。と考えるが、市長の見解は。 と考えるが、市長の見解は。 と考えるが、市長の見解は。 様者対策や消費活動の活性化などの対策もあわせて慎重に 検討すべきだと考える。

邑上守正市長

■地域生活にかかわる組織・人が分野を越えて連携

■地域・団体・事業者・行政などのさまざまな主体

の連携による子育てネットワークの多層化

5 新クリーンセンターの建設と周辺まちづくりの推進 ■新クリーンセンター工事着工に向けての事業者選

■市民とともに、さらなるごみの減量・発生抑制を

■将来にわたる安定供給と水害を軽減するための雨

■多様なニーズに応える子育て支援施策

重点施策

1 地域リハビリテーションの推進

2 子育てネットワークの多層化

3情報の収集・提供機能の強化

定と周辺まちづくりの推進

7 三駅圏ごとのまちづくりの推進

推進

6 上下水道の再整備

水浸透事業の推進

する体制の構築

「施政方針」は武蔵野市役

また、市役所の市政資料 コーナー、各図書館、武蔵

野プレイスで閲覧できます。

所のホームページでご覧い

ただけます。

施政方針を質

第1回定例会2日目の2月24日、市長の施政方針に対して、7名の 各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

市民へ

、の情報

公開および要望の

抜本的な改革を

供ま

および情報収

8

把握につ



問財政援助出資団体の職員が邑上市政六年間で計四百三十六名増加した。団体の統廃合や委託費抑制への見解は。 合や委託費抑制への見解は。 合いでは大きな課題だ。団体の統廃方きな課題だ。団体の議員としての自立を進める。コスト削減は大きな課題だ。団体問の職員

答 分権の流れの中で不交付 が表示の表示を対していく必要があると考える。 も不利益の是正にむけてどの を不利益の是正にむけてどの を不利益の是正にむけてどの はうに取り組んでいるか。 のけ

問本市での直下型地震等大いう観点からどのように認識いう観点からどのように認識しているか。また、その対応しているか。また、その対応をどのように進めていくのか。をどのように進めていくのか。をどのように進めていくのか。をどのように進めていくのか。

ていきたい。でいきたい。でいきたい。市民に対しては、さままた、市民に対しては、さままた、市民に対しては、さままた、市民に対しては、さままた、市民に対しては、さまでは強いできないような

画とコミュニテ

本市に

答 子育てや防災など、地域 と考える。

問う

地域のより

るしらる答

く、経済効果の高い消費喚起く、経済効果の高い消費喚起る業や個店の課題を、どうとらえているか。 三駅圏それぞれに課題があると考えるが、国際オルガンコンクールなどビッグイベントを利用した商業の活性化

クラブも開設してはいかがの開催を継続しつつ、新しいのことだが、現在のクラブでを、他のクラブに変更するとクラブで開催していたものクラブで開催していたもの かク

規の利用者も事業 所を変え実施する になってきたこと

」について、約七年日グラムの「いき用した、高齢者の終り 民間のスポーツな

問 市民への情報公開およい 情報を迅速かつ正確に市民 情報を迅速かつ正確に市民 届けるためにも、抜本的な 革が必要と考えるが、市長 見解を伺う。

おより、またで、 は、年々開催趣旨が似通ってきているという声がある。 できているという声がある。 できているという声がある。 できているが、テーマを再確認 しているが、テーマを再確認 しているが、テーマを再確認 しているが、テーマを再確認 しているが、テーマを再確認 しているが、テーマを再確認 しているが、テーマを再確認 なってきたこの間、 こいう期待をしたも事業に参加して、をも事業に参加して、、参加者が限定的 がいで

答 財源を確保し、社会保障を安定化していくことが大切を重ねて行くべきである。を重ねて行くべきである。と認識している。慎重に議論を重ねて行くべきである。と災害時連携都市盟約を結ぶべきと考えるが、見解は。がきと考えるが、見解は。かか検討している。 日 子育て支援サービスについて、実施主体の責任を明確にし、ネットワーク化によるいか検討している。 にし、ネットワーク化によるにし、ネットワーク化によるにし、ネットワーク化によるにし、ネットワーク化によるいか検討している。

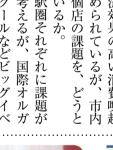
統廃合等で行革を進めよ 員激増の財政援助出資団

商店会に届

事業を絞って施策に集中今後は現金給付的補助な私学の意義は認識しているを希望するがいかがか。

問 東日本大震災を受 にたことを評価するが したことを評価するが の課題をどうとらえ、 直していくのか。 直していくのか。 直していくのか。

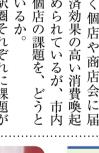
防災計 ふさわしい自治体運営を





問 市の非正 では、中長期的 は、中長期的 がく。

ながら見直して等、地域や関係



評価するが、大道しに早期に対大震災を受け、

と考える。 と考える。 と考える。 と考える。 ために必要な条例化を行う、 ために必要な条例化を行う、 とあるが、ふさわしいとはど のようなことか。 一政運営の振り返りをし ながら、今までの経験あるい は市民性、地域性を存分に加 味した自治の仕組みを構築し たいと考える。 他以でリテーション を進める中で、地域連携協議 会(仮称)と、既存の各種協 会(仮称)と、既存の各種協 会(仮称)と、既存の各種協 会(仮称)と、既存の各種協 での協議会において、今後具 体的な協議を行っていきたい。

何を見

、課題である情報伝達、る地域防災計画となる

初よ



て社会保障

問 社会保障と税の一体改革 の議論は、成長から成熟へと いう価値観の変更を国民が受 け入れられるのか、また、雇 用と社会保障をうまく組み合 わせた制度設計ができるのか が重要と考えるが、見解を伺 う。

る

世、上木事業などの公共事場を、温祉避難所と通常の一部をとるようながある。また、福祉避難所のたい。また、福祉避難所のたい。また、福祉避難所のの見直しの中で検討を進動の見直しの中で検討を進かい。

地域防災が地域防災が

答 公共施設の配置のあり方 について、基本的には、公共 について、基本的には、公共施 設の総量の抑制等を市の基本 的な考え方として、長期計画 のな考え方として、長期計画

援に関し、マンパワーの不足に悩む被災地の自治体に職員を長期派遣できないか。 た、福島の子どもたちの被ばた、福島の子どもたちの被ばた、福島の子どもたちの被ばたを減らすため、長野県川上村の市立自然の村の一定の枠を提供できないか。 を予定している。川上村の施を予定している。川上村の施設を被災地の子どもたちに利

世の確保を促進すること 全性の確保を促進すること 大分に整っているのか。 一分に整っているのか。 一分に整っているのか。 一分に整っているのか。 一分に整っているのか。 一句に表示では、体制を含め、 対心は、体制を含め、 がい者への避 がい者への避 がいまではすべ での要援護者の受け入れは難 しい状況にあるが、建物の安

公共施設配置の公共が

0

答が、いるが、いってきたと別

込めこれまでも積極的に取り組みるが、いかがか。これまでも積極的に取り組みをたと認識している。きたと認識している。きたと認識している。さたい。

問録を基軸としたまちづい。 りにおいて、玉川上水に関する取り組みについて伺う。 を 玉川上水は、東京都の経理ではあるが、文化遺産とてのさまざまな取り組みもなめられており、市も必要なりがられており、市も必要など、 まず は しょう は は しょう は は しょう は は は しょう は は しょう は しょう

一州に関す

原発事故被災者への本市の問 東日本大震災と福島第

市も必要な支な取り組みも進な取り組みも進

市民

の

暮らし

^

の不安に

問 市が発注する るデータを提示する めている。

うるように求れば根拠となれては、必

た市政運

をまでのこ十二 年のか

望の有無など情報収集したい。 問 消費税引き上げではない税制改革の方向として、エコ が提案されているが、政府に 対し、意見表明できないか。 対し、意見表明できないか。 であり、ご意見として承る。 であり、ご意見として承る。 であり、ご意見として承る。 であり、ご意見として承る。 であり、ご意見として承る。 であり、ご意見として承る。 さ、介護保険利用者負担額 助成事業(五%助成)、通所 サービス利用者食費助成事業 について、施政方針で「今期 も時限的に継続します」とあ るが、ぜひ続けるべきではな いか。 問介護保険利助成事業(五%記 サービス利用者会 について、施政者 について、施政者 について、施政者 も時限的に継続し るが、ぜひ続ける るが、ぜひ続ける いか。

震災

・不況の

負

の

連鎖か

と考えるが、市長の見解を伺の声が全く反映されていないに、方内の検討であり、市民は、庁内の検討であり、市民が強く反映されていないが、方人の対象員会の報告書に提示され

い社会を

つ

る

61

力が

つ

て

い

希望の連鎖

介護保険事業計画で継続し、 第六期計画で再検討したい。 第六期計画で再検討したい。 第六期計画で再検討したい。 第六期計画で再検討したい。 第六期計画で再検討したい。 第六期計画で再検討したい。 10 PPS(特定規模電気事業者)電力の導入を検討する という方向性について伺う。 11 本の大きな施設をどこか一施設程度、来年度入札にかける予定である。 12 か一施設程度、来年度入札にかける予定である。 13 給食食材等の放射性物質 検査の比較検討を行うとのことだったが、検討結果を伺う。 とだったが、検討結果を伺う。 とだったが、検討結果を伺う。 とだったが、検討は果等も含めて、慎重に検討したい。

■駅を中心とした3つの圏域のまちづくり 主要な施策・ (I)健康・福祉 保健・医療・福祉・教育などの分野からなる「武る。緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化助成を行

ハビリテーションを推進する。妊婦健康診査におけ 道管の耐震化、深井戸の維持・更新を行う。 る超音波検査について、年齢要件を撤廃する。が (Ⅵ) 行・財政 ん検診の受診率向上を図るため、意識調査を実施す る。知的障害者のグループホームの開設および運営 の助成を行う。

自治と連携を育み、新しい都市像を開く予算

市長の施政方針

災の経験を踏まえ、地域防災計画を見直す。

公共施設における新たなエネルギーの導入や活用 を検討する。第五中学校、八幡町コミセン、北町保

(V) 都市基盤

美しい街並みを維持・創出していくため、建築物 の高さの最高限度の導入に向けた検討を行う。吉祥 寺東町の2カ所で、あわせて約1万トンの雨水を貯 留できる施設(合流式下水道改善施設)を設置す 蔵野市地域連携協議会(仮称)」を設置し、地域リう。安全でおいしい水を安定的に供給するため、水

カードでの収納を開始する。

(Ⅱ)子ども・教育 緊急待機児童対策グループ保育事業を拡充・継続 する。北町保育園の移転・改築を進める。境こども 園(仮称)の開所に向け、既存施設(境幼稚園)の

■必要な情報を必要なときに市民へ届け、また、市 (Ⅲ)文化・市民生活

育園、境こども園(仮称)に太陽光発電設備を設置 する。平成29年完成を目指し、新武蔵野クリーン センター(仮称)の工事事業者の選定作業と土壌調

市民税などのコンビニエンスストア、クレジット



算特別委員会

一般会計予算は、556億5千万円で、前年度比11億8千万円(2.1%)の減額となりました。歳入の根幹をなす市税収入は、法人市民税の 増が見込まれるものの、個人所得の落ち込みによる個人市民税の減および評価替えに伴う固定資産税の減のため、全体では前年度比約3億6

今年度予算は、「自治と連携を育み、新しい都市像を開く予算」と位置づけられ、第五期長期計画の初年度として各事業を着実に実行して いくため、限られた財源を計画的、効率的に配分することを基本に編成されています。また、効率的な行政経営を目指し健全な財政運営を維 持するため、事務事業および補助金の見直しが継続的に実施されたほか、経常経費では前年度予算額の1%を減額した額を限度とする、枠配 分方式による予算編成が引き続き全庁で試行されるなど、内部努力による経費の節減が行われています。

以下は予算特別委員会の審査概要です。

予算特別委員会の審査風景

定検査 高

っている。 専門機関 専門機関 の放射能対

が、剣道・相撲は装備品を貸しいては、都や国が実施するほか、専門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。門家を招いて実技研修を行う。中を含め検討していくのか、機能の設置を検討する」と考えるが、見解を同う。学校では原則月一回の防災学校では原則月一回の防災事を予定している。地域や消息を、教育課程として実施する。学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、学校に働き、、

問 吉祥寺のの移設について で映らなか るよう設置し るよう設置し るよう設置し かあ考由いの

としっ

9る付帯決議 此蔵野市一般会計予算 来第二十三号平成二十四

3月27日の本会議で予算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない蔵野恵美子議員のすべての予算に賛成する討論もありました。なお、各会派の構成を8面に掲載しております。

予算特別委員会の詳しい内容を、会議録またはインターネット議会中継(アクセス手順は7面に掲載)でご覧いた

だけます。会議録は5月下旬以降、各市立図書館、コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーにおいて閲覧



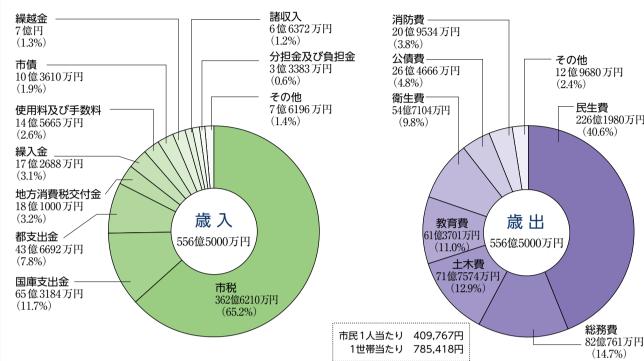
与座 武 予算特別委員長

審査した特別委員 平成24年度予算審査に当たっ

た特別委員の氏名は、次のと

◎与座 武 ○内山さとこ 田辺あき子 落合 勝利 木﨑 剛 島崎義司 川名ゆうじ 深田貴美子 斉藤シンイチ 桑津昇太郎 本間まさよ ◎印 委員長 ○印 副委員長

一般会計歳入決算の内訳及び歳出決算の目的別内訳



主要な事業 (単位:千円) 耐震診断助成事業 8 100 民間住宅耐震改修助成事業 33.000 ・市制施行 65 周年記念シンポジウム 2.333 財政援助出資団体のあり方の検討 5,000 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 市勢要覧の発行 4.299 I F D 待路灯事業 10000 公園等建設事業(千川上水整備事業を除く) 1,161,875 平和啓発事業 4,161 第7回国際オルガンコンクール 5.000 都市緑化フェア 10.000 ・ 幼児教育振興研究委員会 (仮称) の設置 消防費 370 6 544 8.386 高齢者見守り支援事業 帰宅困難者対策等備蓄品の充実 子ども家庭支援センター事業 37,349 女性消防団員採用の推進 10,024 災害用トイレの整備 20.000 固定系防災行政無線の増設 11.000 プレこども園事業 34.734 緊急待機児童対策事業 35,094 14 563 境こども園(仮称)建設事業 181.627 学校図書館サポーターの充実 緊急連絡システムの構築 子ども協会立北町保育園建替事業 225,358 特別支援学級の運営 115,740 公共施設における新たなエネルギー活用の検討 10.000 国体・障害者スポーツ大会推進事業 39.905 新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業 72,693 2,584 ◇各費目にわたるもの 64,710 妊婦健康診査の拡充 78.524 公共施設改良保全整備 がん検診受診率向上事業 4,577 ◇商工費 放射線対策事業(水道事業会計含む) 21,428 都市観光を推進するための来街者調査 5,000 ■下水道事業会計 産業振興のための産業構造実態調査 5,000 合流式下水道改善事業 ◇十木費 雨水貯留施設設置事業 38.500 4,100 三鷹駅北口駅前広場総合案内板の設置 · 公共下水道耐震化事業 吉祥寺駅南北自由通路整備事業 82.000 4.327 吉祥寺地区まちづくり検討調査 · 療養費支給申請内容占檢委託 4 000 特定健康診査等実施計画作成 分譲マンション実態調査事業

兄据えてど一の初年度で が、五、気が、五、 6,340 1,699,265 30,000 3,000

答 さまざまな課題を解決していくには市民の力なくしてはでいくには市民の力なくしてはでいて、議論を再スタートする。いて、議論を再スタートする。に進行していくのかを伺う。に進行していくのかを伺う。

度期の長

組斷

取

ででだきないくのか なのかかを をする。 東日本大震災がて、本市は積極のる。多摩地区はいて、本市は積極のる。多摩地区はいる。を関する。 極的に支援し 「がれき」に からの復興の

見直しを図りたい。 が市民の課題解決につ が市民の課題解決につ が市民の課題解決につ がが市民の課題解決につ がれき」の がれき」の が独自で は四月から でいくこ

ることになろうなどを必る割合などを必あれぞれの給付のいるがあるがあるがあるがあるがある。

周知や経過措置が必要ではなるが廃止されるが、対象者へ会が廃止されるが、対象者への整備は重要だが、有権者数の整備は重要だが、有権者数のを開いる。

では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 は体にバック が常に地盤の固 が常に地盤の固 が常に地盤の固 がなる。

○○○ で、採算を合わせていく方向でているが、赤字を前提とはせ上しているために経費が増加上 賃却費を事業者の運行経費に計 質型費を事業者の運行経費に計

は南ん南伺め末辺 ての開

(ほしいと考えの駅舎改修のター)

1つていくものと考えがあり、市内産農産物で毎週行う方向である。 農産物の放射能のに、農産物の放射能のに、

いめわ

対そる

策のの

を後が

検討し、個月

いな旬

いきたい

いをる

市民の党

することができます。

| 自由民主クラブ

市民、議会、行政がともに、 新しい時代への一歩を

023466賛成

●平成 24 年度武蔵野市一般会計予算③平成 24 年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算

市民福祉・市民サービスの維持発展を

5平成24年度武蔵野市介護保険事業会計予算

第五期長期計画の初年度、また大震災から1 や、以前行った事業を継続させた市民との関 年がたった新しい時代、これからの社会を作る 係作り等は評価でき、予算に賛成する。

むさしの未来

市民とともに武蔵野の未来と 希望の一歩を踏み出そう

平成24年度予算は、堅実な編成であると評事業報告をするよう強く要望する。市民要望 価する。市民要望に積極的に対応できるよう、に対応したまちづくりへの飛躍を期待する。

必要であるが、市民への周知や説明がほとん どない中で、施策・事業カットが進められる ところが一部にあり疑問を感じるものもあっ た。また、先行き不透明な財政環境に対して 平成24年度予算は、東日本大震災の未曾有 は、人件費を抑制し、枠配分方式で経費削減 の大災害、長引く経済混迷、国・地方ともに厳 に努めたことには一定の評価をする。 第一歩という視点から審査に臨んだ。地域リ

しさを増す財政環境の中、自治体の手腕が試

される編成であったと認識している。事務事

業を絶えず見直していくことは、市政運営上

②平成 24 年度武蔵野市下水道事業会計予算

6平成24年度武蔵野市水道事業会計予算

4平成24年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算

ハビリテーションの展開や子育て分野の事業 を、地域と結び付けて拡充し、そこから地域 活動の世代交代を進めていく必要がある点 斉藤シンイチ議員 等が課題である。一方、「これからの地域コ ミュニティと市民自治の検討」等のワーク ショップと地域社会に関する意識調査の展開

機動的な執行を望む。事業継続計画策定等の 施策も評価するが、今後の都市基盤整備に多 額の財政出動が見込まれる以上、ファシリ ティマネジメントを踏まえて自治体不動産の 深田貴美子議員 有効活用の推進を図らねばならない。また、 財政援助出資団体については、財務内容の透 明化を図り、逐次議会に対しての情報提供と

経えがの間の

市民・行政・議会の相互理解のもと、 「持続可能な都市」の構築を

かの問

立分への時間

保険事業会計〉

大留北去答がい間

水貯留

が撤て

れたものと理解する。事務事業の見直しなど

行財政改革を推進し、持続可能な市政運営に

向かっている点は評価する。その反面、新規

施策が少なく消極的にも見えるが、変化する

社会情勢を見据え必要な措置は迅速に行うこ

とを要望する。これからの市政運営には、市

民・行政・議会の相互理解による課題解決が

等の重視を求めてきた。住宅耐震改修助成の

倍額など、災害対策の取り組みを評価する。

低所得者の介護保険料も値上げとなる介護保

険条例の改正に反対したため、介護保険事業

議会で、私立小・中学校等保護者補助金の増

額を求める陳情を全会一致で採択した結論を

ど、市政の大きな転換期において課題解決が

どのように系統立てられているかに注目して

審査した。地域リハビリテーションや平和施

策などの長期計画に掲げられた施策展開が考

けとして防災計画の見直しなどが迅速に考え

られていることを評価する。事務事業評価に

会計の採決の際には退席する。昨年9月の

● 123456 賛成

今回の予算は、東日本大震災を教訓に、より 最も重要であると申し述べ、賛成討論とす -層安心・安全なまちづくりを志向して編成さる。

日本共産党武蔵野市議団

放射能から子どもと市民の命を守る 取り組みを望む

12346賛成 **5**退席

【民主党・無所属クラブ

市民の暮らしを守る立場から、防災対策、放 重く受け止め、平成24年度の補助金廃止の

射能対策、福祉、子育て、中小企業、雇用対策 再考を求める。

地域リハビリテーションや 再生可能エネルギー施策の推進を 川名ゆうじ議員 えられていることや、昨年の大震災をきっか

● 2046 6 賛成

税収増が期待できない一方で、社会保障費の課題は残されているが、各予算案とも、おお 増大や施設維持・更新に巨額な費用がかかるな むね適正に算定されていると考え、賛成する。

発想の転換を図った、本市の力強い

桑津昇太郎議員

市議会市民クラブ

メッセージの発信を

今までにない大震災からの復興に国をあげて 行65周年を議会、職員あげての総力戦で、 取り組む、厳しい現状の中、間違いのない選択 市政の経営・運営にあたることを要望する。

と集中を図り、新たな活力を生み出す事業の 展開が必要と考える。平成24年度は第五期 長期計画の初年度でもあり、早期に整備した 都市基盤の再整備等に取り組まねばならない 時期に入り、課題も山積みである。一般会計 予算に関する付帯決議に込められた議会の考 えをよくくみ取り、大変な環境下での市制施

館開図 。そのほか、要望が聴取の進捗状況は。開設に関する地域住間がある地域は が止 要で

換答民歴間

問他市では二人世帯の孤立死が相次いでいるが、独居以外の世帯への支援について見解は。世帯への支援について見解は。一世帯への支援について見解は。一世帯への連絡会議で福祉サービス等を実施している。また、今後庁内の連絡会議で福祉サービス等を実施していない方々の緊急事を利用していない方々の緊急事を利用していない方々の緊急事を利用していたが、高齢者全般のである。また、今後庁内の連絡会議で福祉サービス等を実施していない方々の緊急事を利用していたが、高齢者全般のは康づくり施策の中で、幅広く健康づくり施策の中で、幅広くといるがある。

での待機児の状況が での待機児対策につい にていくためである にていくためである にではないか。 ではないか。

問 産業振興基礎調査 市が実施する目的を伺 を作成するための前界 て、産業振興の基本的 である。 把握するためである。 把握するためである。 把握するが検査を実施 で、平成二十四年度の検査 について、平成二十四年度の検査

量に加え、新た を実施したが、 を実施したが、 を実施したが、 を同う。 を同う。 を同う。 を記を備に役立 をいうことを をいうことを

問 災害時、障害者福祉セン 等を検討していただいている。 等を検討していただいている。 等を検討していただいている。 等を検討していただいている。

施する

目的は

整口で口う い広いの つ場る買 一つある 収

次害に強い体制 が働できないが 動できないが

通

心とないと再

答るが、シ

後の は基

考えている。産物も検査をあるとの説明能の簡易検索





平成24年2月1日、本市と北京市等との青少年交流 の一環により、北京市月壇中学校の生徒が来庁し、 議場を見学されました。

八幡町コミュニティセンター

問 八幡町コミセン移転新築工事入札が3

度も不調になった原因と、同様の事が起こ

答 震災復興の影響による資機材および労

務費の高騰などが原因と考える。この傾向

は現在も続いており、万全な対応は難しい

問 現在借地にある消防団第三分団の詰所

を公会堂の駐車場に建て替えてはいかがか。

答 消防団の詰所に限らず、公共施設につ

いては駅勢圏ごとに再開発計画を進めてい

く中で、今後の移転について研究していく。

このほか、新エネルギーの活用について

が社会状況を勘案し工夫していきたい。

移転改築等について

らないための今後の方策を伺う。

自転車走行環境の整備等 について

落合勝利議員

- 問 急増する自転車事故の対策として、交 差点の改善に向けた基本的な整備方針は。
- **答** 見通しのよさが交通事故の削減につなが ると考える。隅切りの整備等で交差点の見通し を向上させ、あわせて道路標識や路面標示で 注意喚起していく。
- 問本市の防災教育の実態について伺う。
- 答 緊急地震速報対応訓練を予定している小 学校がある。市内の他の学校においても実施 されるように働きかけていきたい。
- 問 一層の課題解決が期待される木造住宅密 集地域の不燃・耐震化への本市の対応は。
- 答 耐震助成の増額を予定している。積極的 に PR して耐震化の推進をしていきたい。

活気のあるまちづくり等 について

しばみのる議員

- 商店街が元気で活気があり、市民が安心 して楽しく買い物ができるまちづくりに、市が 協力できることについて努力を求めたいと思う が、どのように考えるか。
- 答 商店街活性化の基本は、まずは商店街に 努力いただくのが原則であり、市としてはその 工夫に対して可能な支援をしていく。
- 問 独り暮らしの高齢者に対して定期的な訪 間体制をつくり、状況確認や健康づくりの案内 など、生活相談業務に取り組む必要性がある と考えるが、市長の見解は。
- 答 閉じこもり高齢者の戸別訪問を実施し、必 要な方を在宅介護支援センターにつなぐ等、ア ウトリーチを進めていく。

世代を超えた公共の価値を はぐくむこと等について

内山さとこ議員

- 問 環境基本軸である玉川上水の史跡とし ての保存とまちづくりをどう考えているか。 答 水と緑のネットワークの基軸・資源と 考える。都の計画に協力しながら市民や来
- 街者に親しまれる潤いある憩いの場として、 景観に配慮したまちづくりを進めていく。 問 街並み・景観を公共の価値とするガイ ドライン、制度についての考えを伺う。
- 答 街並みのあり方、色彩、広告物等につ いて、具体的に景観計画ガイドラインを作 成し、あわせて景観行政団体となり積極的 に景観形成を進めていきたいと考える。

このほか、新しい世代が希望を持てる社 会づくりについての質問がありました。

三鷹駅北口のまちづくり等 について

橋本しげき議員

- 問 武蔵野タワーズに容積率や高さ制限を緩 和する総合設計制度を適用した評価は。
- **答** 道路用地の寄付、公開空地の整備などで まちづくりに寄与している。
- 駅前に商業ビルではなく、マンションが建 設されることについての見解を伺う。
- 答

 商業・業務系の土地利用を維持すべきだ が、事業採算上難しい場合には、マンションを つくられるのはやむを得ない。
- 問 若者・単身者・子育て世帯向けの家賃補 助制度の創設についての見解を伺う。
- 答 心身障害者住宅費助成などの福祉的配慮 を要する世帯に対しての助成は行っているが、 ほかに補助をすることは難しい。

議会運営委員会

・災害時の市議会の対応につ

いて(本市の友好都市であ

り、大震災による直接被害

は少なく、後方支援基地と

・災害時の市議会の対応につ

いて(市庁舎の被害は少な

かったものの、津波による

被害が大きかった自治体)

日程:平成23年10月31日(月)

~11月1日(火)

なった自治体)

視察先および視察内容

岩手県遠野市





第1回定例会では2月28日、29日に、13名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質 問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、5月下旬発行予定の会議録(設置場所:各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所 の市政資料コーナー)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第1回定例会分は5月22日登 録予定)、インターネット議会中継(アクセス手順は7面下部に掲載しています)でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に 対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。



平成24年2月10日、友好都市の富山県南砺市で開 催された「第8回南砺利賀そば祭り」に19名の議員 が出席し、南砺市の皆さんとの交流を深めました。

予防保健と健康づくりに ついて

深沢達也議員

前田秀樹議員

- 問 40歳以上の老・成人健診について、20 年度の制度改定後の利用者数の推移を伺う。
- 答

 仕組みが違うため、一律に比較はでき ないが周辺自治体に比べて受診率は高い。
- 問 人間ドッグ事業の本人負担増額につい て利用者にはどのように周知したのか伺う。
- 答 市報では、昨年の4月にお知らせした 以降に数回、他の媒体でも負担額増額の連 絡と理解をお願いしたい旨の周知を重ねた。
- 問 健康増進のため、生涯スポーツの重要 性は高まると考えるが、総合体育館の今後 の取り組みについて伺う。
- 答 施設のバリアフリー化、事故対策など 施設の安全整備が重要な課題と考えている。

エコ都市武蔵野は足元の

問 安心・安全なまちづくりに街路灯の維

持管理は不可欠だが、市内 7.300 カ所以上

の街路灯をLED照明に変えてはいかがか。

答 平成24年度に水銀灯25基のLED化

を実施し、まずは状況をよく見ていきたい。

問 まちのシンボルである商店街の街路灯

のLED化に対し、東京都は事業費の補助

を行っているが、本市でも都とともに商店

街街路灯補助事業を進める考えはあるのか。

答 平成23年度は都の補助に加え、市も

補助した。今後も商店街の活性化、地域社

会の環境配慮の取り組みに支援を続けたい。

成年後見制度、がん検診率、私立小学生の

問 成年後見制度に関する専門家との連携、

また、多世代への啓発・PRについて伺う。

答 リーガルサポート*や福祉公社と連携

のあり方について意見交換会を行っている。

問 がん予防啓発や正確な検診率の把握に

向け市内の企業等と協定を結ぶ取り組みは。

答 がん検診の受診状況の把握に努めつつ、

問 私立小学生の学校の休暇を理由とする、

学童クラブの受け入れ態勢について見解は。

答 原則として、市立小学校の授業時間等

に合わせた対応となっており、経過を見な

*高齢者や障害者等の権利擁護を目的に、司法書

がら必要な対応を検討していきたい。

士を中心に設立された社団法人

民間企業との連携方法を今後研究したい。

若い世代を含めた周知方法も考えたい。

学童クラブ受け入れ態勢の向上について

ついての質問がありました。

このほか、武蔵野市耐震改修促進計画に

明かりから

震災の教訓を武蔵野で生かす、武蔵野 インナーマッスル増強計画について

深田貴美子議員

- 問 公共施設の再配置や未利用地・低利用 地などの「PRE」(自治体不動産の有効活 用)推進の①具体的な計画策定②技術職を 含めた推進体制について伺う。
- 答 ①平成24年度早々に庁内に検討組織 を設け、検討を始めたい②企画・財務の連 携と事務職・技術職の共同で取り組みたい。
- 問 災害時の電源確保のために、学校に既 設の太陽光パネルに、国の補助金を活用し た蓄電池設置を求めるが、いかがか。 答 公共施設への太陽光発電設置等、省エ
- ネ推進策としてスマート化の研究を進める。 このほか、「開かれた学校づくり協議会」 の今後について等の質問がありました。

子育て支援の多様な

ニーズへの対応拡大を

問 乳幼児や親子の子育てを地域や社会全

体で支え合う必要があると考えるが、行政

だけではない包括的な子育て支援などを展

開していくことについて、市の見解を伺う。

答 共助の子育ての仕組みをどう構築して

いくかが課題と認識している。長期計画で

も地域と社会全体の連携による子育て支援

の充実を明記しており、子育て家庭の孤立

問 不登校から復帰できた児童生徒がふえ

答 平成22年度の不登校者数は大幅に減

少した。週1回の派遣相談員の配置や教育

を防ぐ仕組みづくり等に取り組みたい。

た状況をどのように分析しているか。

すべての財政援助出資団体は 独自の綱領を持つべき

山本あつし議員

- 問 子育て、福祉、文化等すべての分野に おいて、第五期長期計画を共有し、各財援 団体の綱領を明確にすべき時期ではないか。
- 答 市の計画を踏まえた上での、運営・経 営の明確化のため、必要な支援をしたい。
- 間 財援団体の財源の多様化の推進、自主 財源を持つ工夫のため、契約方法の見直し や独自の事業展開の援助を行うべきでは。
- 答 指定管理者制度の適用等や利用料金制 度導入とあわせ、検討課題と認識している。
- 問 市は、恒常的な仕事を正規雇用とする よう配慮し、努力すべきと思うがいかがか。
- 答 全庁の嘱託職員等のガイドラインを策 定し、任用のあり方の検討を進めたい。

一時保育・病児保育の

拡充について

ひがしまり子 議員

- 問 病児保育は時間と場所が重要と考える。 近隣の市では、月曜日から土曜日までの朝 7時30分からドクターの診察があり、病 名が明確になり、その後預けた親は、その 病院で子どもと別れて、そのまま会社など へ行けるシステムをとっている。また、中 長期的には、NPOがすでに行っている訪 問型システム導入も一つの手段としてある と考えるが、市の見解を伺う。
- 答 現在2カ所で病児・病後児保育を実施 しており、一定程度の利用がされていると 考える。また個々の課題を解決するために、 民間の対応を含め、効率的運用のための周 辺の施設との連携も今後研究していきたい。

安心して使える再生可能 エネルギーを市民のものに

西園寺みきこ議員

- 問 PPS*電力購入の検討状況を伺う。 答 公共施設の新エネルギーの研究を開始
- 友好都市の再生可能エネルギー促進を、
- 答 大変興味深い提案である。カーボンオ フセット的な考え方等、研究課題としたい。
- ディネーター、ファシリテーターの能力を
- 場であり、現場に出て経験を積むことが大 切である。そうした観点で育成に努めたい。 *特定規模電気事業者

支援センターと学校の連携の成果と考える。

斉藤シンイチ議員

- するほか、電力調達に関する環境配慮方針 を定め、1施設で試行的に実施予定である。
- 市民が支援する仕組みについて見解を伺う。
- 問

 市民活動促進に重要な役割を持つコー
- 職員が身につける方法について見解を伺う。 答 職員は黒子となり市民活動を支える立

1面写真募集要領〈次回の締め切り7月9日〉

●内 容: 武蔵野市内の風景(明らかに人物を特定できる場合は、ご 本人の了承を得てください)。応募者自身が撮影した、未発 表のオリジナル作品(カラー)に限ります。

- ●規 格:①紙焼きの場合 ・サイズ 六つ切り ②デジタルデータの場合 <u>ファイル形式</u> JPEG形式
 - <u>画像サイズ</u> 1600×1200ピクセル以上 ファイルサイズ 2MB程度まで (2MB以上になると メールが受信できない場合があります)
- ●審 査:議会広報委員会が審査します。 表:採用された作品は、8月1日発行の市議会だよりに掲載し
- ます(賞品等はありませんのでご了承ください)。 作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、市議会 だより掲載後6か月間、他媒体での発表等をご遠慮いただ
- くことを、作品採用の条件といたします。 ●期 限:7月9日(月)当日消印有効 ●応募方法:撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・
- 作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記の上、 下記あて先までご応募ください(作品は返却いたしません。 なお、今回採用されなかった場合、次号以降の市議会だよ りの1面写真に使用させていただく場合があります)。
 - ●あ て 先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係 デジタルデータの場合はメールで
 - ofc-gikai@city.musashino.lg.jpまで (CD-R等、各種メディアでの送付はご遠慮ください)
 - ●問い合わせ: Tel 0422-60-1883

各常任委員会・議会運営委員会 行政視察報告

文教委員会

・ 人と防災未来センターについて

こうべ学びの支援センター

学との連携について

取り組みについて

システムについて

と特別支援教育における大

「読む・書く・話す・聞く」

京都市子育て支援総合センター

・小中学校における双方向性

の学校・家庭間メール配信

こどもみらい館について

ことば文化都市伊丹特区の

日程: 平成23年10月19日(水)

~ 21日(金)

視察先および視察内容

兵庫県伊丹市

京都府京都市

滋賀県草津市

1 兵庫県神戸市

総務委員会 **日程**: 平成23年10月19日(水)

の質問がありました。

~ 21日(金) 視察先および視察内容

- 1 兵庫県神戸市 人と防災未来センターについて
- 2 大阪府大阪市 ・震度7を想定した震災対策
- 3 三重県四日市市
- 度について 愛知県豊田市
- (阿倍野防災センター)につ いて
- ・指定管理者モニタリング制
- ・地域自治システム(地域予
- 算提案事業)について

インターネット議会中継ホームページ

http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/

京都市子育で支援総合センターこどもみらい館

インターネット議会中継をご覧いただけます 現在、平成18年9月定例会以降の、本会議・決算特別委員会・予算特別委員会の模 様を録画でご覧いただけます。 なお、録画は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)で、ご覧いただけます。

インターネット議会中継ホームページに アクセスする手順

武蔵野市ホームページから

→ 市議会 → インターネット中継 の順にクリックしてください。

~ 26日(水) 視察先および視察内容 1 山形県長井市

レインボープラン(生ごみの 再資源化(土づくり)を中

厚生委員会

日程: 平成23年10月24日(月)

心とした循環システム)に ついて

新潟県上越市

・風力発電事業について 新潟県長岡市

- ・高齢者総合ケアセンターこ
- ぶし園の取り組み(社会福 祉法人による地域包括ケア 事業) について
- 兵庫県尼崎市 について 大阪府堺市

ついて

・都市型災害後のまちづくり

平成23年10~11月に、各常任委員会および議会運営委員会で下記のとおり行政視察を実施しました

建設委員会

けいはんなエコシティ推進

事業 (スマートグリッド)

· 南芦屋浜地区都市再生整備

・堺浜地域のまちづくりについて

J - GREEN (グリーン) 堺に

計画(まちづくり交付金)に 2 岩手県大船渡市

日程: 平成23年10月24日(月)

~26日(水)

視察先および視察内容

について

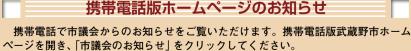
兵庫県芦屋市

ついて

京都府







携帯電話版武蔵野市 ホームページの開き方

下記のURLを直接入力するか、 携帯電話でQRコード(2次元バーコード)を 読み取ってください。



http://www.city.musashino.lg.jp/m/



者数は四十二万二千人を超え、この 倍に相当します。 死亡者の四十人に 人数は、武蔵野市の人口の三・一三 人が自殺により亡くなっています その多くの背景に精神疾患があ

提言をまとめ、

平成二十二年五月

既に地方自治体による新たなエネ 電力自由化が進められたことで、

段階的にではあるものの

意

政府等への

基本法(仮称)の法制化を求こころの健康を守り推進する

るなど「国民病」です。社会問題と で受診しており、十年前の一・五倍 いう点からは、自殺(自死)で命を とも五人に一人が精神疾患に罹患す にあたる三百二十三万人が医療機関 んで国民の生活の基本をなすもので こころの健康は、体の健康と並 精神疾患は国民の四十人に一人 生涯を通じると国民の少なく 待されます。

軸に据えて六十三回の会議を重ね、 事者のニーズにこたえることを主 専門家、学識経験者が集まり、「こ 月から家族、当事者、 しました。この会議では家族、当 ころの健康政策構想会議」を設立 厚生労働省は、平成二十二年四 医療福祉の

超え、イギリスの三倍で先進諸国最 洛とす方が十三年連続で三万人を

大の自殺大国です。十三年間の自殺

づいて、精神科では、医師の数が 策が実現しています。一方日本で 現在も続いていますので、そうし 療費もそれに見合うものとなって 他科の三分の一で良いとされ、医 のそうした位置づけに基づいた政 いるなど、法制度としての差別が は、いわゆる「精神科特例」に基 など諸外国では、すでに精神疾患 ることを決定しました。イギリス た差別の解消に結びつくことが期 一つに指定して、医療の充実を図 脳梗塞・糖尿病と並ぶ五大疾病の

発事故以降、電力事業を含む日本 きな関心事となっています。 ても、 のエネルギー政策は、住民にとっ 本大震災を発端とした福島での原 平成二十三年三月十一日の東日 地方自治体にとっても、

精神疾患をがん・急性心筋梗塞・ 厚生労働省は、平成二十三年七月、 務・厚生労働大臣あて) (衆議院・参議院議長、内閣総理・総

及び再生可能エネルギー普及へ PPS (特定規模電気事業者) の研究・検討を求める意見書

大 家戦略担当大臣あて)

宅)を公共住宅として継続し、居都市再生機構賃貸住宅(公団住 住者の居住の安定を求める意見書 を公共住宅として継続し、

行政法人の制度及び組織の見直し 平成二十四年一月二十日「独立

化とあわせて民営化の方向が強め

特命担当大臣

(行政刷新) あて)

(内閣総理・総務・国土交通・内閣府

の危機」と言える状況を踏まえて こうした「国民のこころの健康 康政策についての提言書」を提出 末に厚生労働大臣に「こころの健 しました。

があること、また、CO2の排

度では、供給できる電力には限界

トしていますが、現在のPPS制

た。独立行政法人都市再生機構 の基本方針」が閣議決定されまし

(以下機構という) については、業

意見書・要望書を国や機構に提出

してきました。

半世紀にわたる公団住宅の存在

居住者の居住の安定を求める旨の

議会では、公共住宅としての存続、

れてきました。その都度武蔵野市

ルギー政策への取り組みはスター

問題や電源の安定化・多様化への

府に対し、 図りつつ、「こころの健康を守り推 進する基本法 ければいけない課題です。 としても取り組みを進めていかな 人の問題というだけでなく、社会 こころの健康は、国民の一人一 よって、本市議会は、国及び政 関係各法との整合性を (仮称)」の法制化を

と考えます。

国によるさらなる制度整備が必要 取り組みも十分ではないことなど、

に全額政府出資の特殊会社化を検

ついて結論を得ることとし、さら 化を検討し、本年度中に方向性に

討し、平成二十四年夏までに結論

住まいの安定につながり、また、 は、子育て世代から高齢者までの

削減、エネルギー効率のスマート のエネルギー政策について、官民 体の利益に沿うため、発送電の分 生可能エネルギーの導入等の今後 化、CO⊆の削減といった地域全 に対し、電力の安定供給、コスト **職等を含む電力供給の多様化や再** 一体となって研究と議論を深める よって、武蔵野市議会は、貴職

務・文部科学・経済産業・環境・国 (衆議院・参議院議長、内閣総理・総

よう強く求めます。

社化への方向性が示されました。 政改革」では注目され、高家賃 これまで公団住宅は絶えず「行

分は民間へ、高齢者・低所得者向 を得るとされました。 等を再確認するとともに、特殊会 賃貸住宅ストックの削減と市場家賃 生機構の改革に係る工程表」では、 され、平成二十三年七月の「都市再 け住宅は自治体または国へ移行」と 業仕分けにおいては「市場家賃部 がれました。平成二十二年四月の事 法人都市再生機構に管理が引き継 繰り返され、平成十六年独立行政 住宅公団として出発し、統廃合が 化の推進、地方公共団体との連携 機構賃貸住宅は、もともと日本

保と、国民だれもが最低限度の居 貸住宅を公共住宅として維持存続 役割と居住者の生活実態、また居 住が保障されるよう住宅政策を確 させること。 会決議等を十分に踏まえ、機構賃 住者の居住の安定確保に関する国 二、国は公的賃貸住宅の安定的確 、機構賃貸住宅が果たしている

辺

田 合 あき子

勝利

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、今後の議会活動の

され、その役割は今後も求められ

住宅の確保の必要性が改めて実証

ように、地震国日本にとって公共 阪神大震災や東日本大震災に見る

ています。

会派とは、中域について、同じなりと 一つの基盤となります。 ※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、 わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。 本議会市民クラブ 60-1885

に対し、下記事項を要望します。

よって、武蔵野市議会は、

貴職

☎ 60-1884 目由民主クラフ 太郎司徳 きくち 木 﨑) 崎井 近 藤 和 島 むさしの未来 **☎** 60-1889 西園寺 みきこ 深 田 貴美子 前 田 秀 樹 小美濃 安 弘 民主党・無所属クラブ **☎** 60-1887 深 沢 達 也 川 名 ゆうじ ひがし まり子 内 山 さとこ 市議会公明党 ☎ 60-1886 市議会 市民クラブ ☎ 60-1885 土 屋 美恵子 昇太郎 桑 津

市民の党 **☎** 60-1890 山 本 ひとみ 山 本 あつし 斉 藤 シンイチ 日本共産党武蔵野市議団 ☎ 60-1888 本 しげき し ば みのる 本 間 まさよ 会派に属さない議員 ☎ 60-1909 蔵 野 恵美子

… 議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。・

TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555 議会事務局 メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.ip 市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/

小野正二

議案審議結果(議決)一覧

第1回定例会

【市長提出議案(31件)】
●武蔵野市市税条例の一部を改正する条例 可決 (賛成多数)
※東日本大震災からの復興を図ることを目的に防災施策の財源へ対応するため、改正をするもの。
●武蔵野市立保育園条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
※保育園の施設および運営の基準について厚生省令から都条例への改正に伴い、改正をするもの。
●武蔵野市学童クラブ条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
※児童福祉法の改正による引用条文の繰り下げに対応するため、改正するもの。
●武蔵野市乳幼児及び義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 一
●武蔵野市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
※児童福祉法の改正による引用条文の繰り下げに対応するため、改正するもの。
●武蔵野市ひとり親家庭の住宅費の助成に関する条例の一部を改正する条例
●武蔵野市立みどりのこども館条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
※サービスの名称を「児童デイサービス」から「児童発達支援」に変更するため、改正するもの。
●武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
※3年ごとの介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料を改定するため、平成24年度から平
成26年度までの第1号被保険者の保険料率を定めるほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市小規模企業者事業資金融資あっせん条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
※小規模企業者の事業の資金に係る融資のあっせん制度について、根拠となる例規等を整理する
ため、制定するもの。
●武蔵野市墓地等の経営の許可等に関する条例 可決(全会一致)
※これまで都知事が行っていた墓地等の経営の許可を市長が行うこととなったため、条例化するもの。
●武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
※下水道法施行令の一部を改正する政令(平成23年政令第332号)の施行に伴い、公共下水道に
排除する下水の水質基準を改めるもの。
●武蔵野市雨水の地下への浸透及び有効利用の推進に関する条例 可決(全会一致)
※市域における雨水の地下への浸透及び有効利用の推進について市、市民及び事業者の責務を明
らかにするとともに、建築物の建築の際の雨水浸透施設等の設置の基準及び手続等を定めるた
め、制定するもの。
●武蔵野市立体育施設条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
※武蔵野市立武蔵野総合体育館第1運動室に空調設備を設置したこと等に伴い、メインアリー
ナ・サブアリーナの貸切使用料金を改定するもの。
●東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約・・・・・・・・・・・ 可決 (全会一致)
※東京都後期高齢者医療広域連合の経費の支弁の方法を変更するため、地方自治法(昭和22年
法律第67号)第291条の11の規定により、提案するもの。
★(日本の17年) が291束の11の規定により、提案するもの。人身事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について・・・・・・・・・・ 可決(全会一致)
※武蔵野市道上で発生した人身事故に係る損害賠償の額の確定および和解をするため、提案するもの。
●物指車均に係る指案時間の類の確定及び和解について

物損事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について………………………… 可決(全会一致) ※武蔵野市の施設に設置している育苗用ビニルハウスが台風接近の強風により飛び、照明施設およ

※武蔵野市の施設に設置している育苗用ビニルハウスが台風接近の強風により飛び、照明施設および乗用車に接触した物損事故に係る損害賠償の額の確定および和解をするため、提案するもの。
武蔵野市吉祥寺東町1丁目地内合流式下水道改善施設設置業務委託契約・・・・・・ 可決(全会一致)
※契約金額は33億6,800万円。委託期間は平成24年4月1日~平成26年3月31日。
平成23年度武蔵野市一般会計補正予算(第4回)・・・ 可決(全会一致)
平成23年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第2回)・・ 可決(全会一致)
平成23年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第1回)・・ 可決(全会一致)
平成23年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第1回)・・ 可決(全会一致)
平成23年度武蔵野市後期高齢者医療会計補正予算(第2回)・・ 可決(全会一致)
平成23年度武蔵野市後期高齢者医療会計補正予算(第2回)・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市大道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市大が道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市と関語を開発を計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市次道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市水道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
平成24年度武蔵野市水道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
・ 平成24年度武蔵野市水道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
・ 平成24年度武蔵野市水道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
・ 平成24年度武蔵野市水道事業会計予算・・ 可決(全会一致)
・ 京高等裁判所平成23年(行コ)第402号地位確認等請求控訴事件について、当該控訴に附帯して、同控訴事件の第一審東京地方裁判所平成22年(行ウ)第641号地位確認等請求事件に係る同裁判所が平成23年11月9日に言い渡した判決に対し控訴を提起するにあたり、議会を招

る同裁判所が平成23年11月9日に言い渡した判決に対し控訴を提起するにあたり、議会を招

集する時間的余裕がないので専決処分するもの。 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について………… 同意 (全会一致) ※後藤敏夫氏の武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、市議会に再任の同意を

武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について………… 同意 (全会一致) ※堀田 正氏の武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、市議会に再任の同意を 求めるもの。

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて………… 異議なし (全会一致) ※人権擁護委員、藤井範弘氏の任期満了に伴い、再度候補者として推薦することについて市議会 の意見を求めるもの。

【議員提出議案(4件)】 こころの健康を守り推進する基本法(仮称)の法制化を求める意見書……… 可決(全会一致) ● P P S (特定規模電気事業者)及び再生可能エネルギー普及への研究・検討を求める意見書

可決(全会一致) 都市再生機構賃貸住宅(公団住宅)を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書

議案第23号平成24年度武蔵野市一般会計予算に関する付帯決議 ……… 可決 (全会一致)

各議員の議案等に対する賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

国・東京都に意見書を提出する ことに関する陳情 (新規)

(*)継続審査となっていたものです。

ほか

件

外環計画(外環本線)に対して情(新規) る国への意見書提出に関する陳障害者総合福祉法の制定を求め

普及への研究・検討に関する陳情導入及び再生可能エネルギーのPPS (特定規模電気事業者)の

見書提出に関する陳情 居住者の居住の安定を求める意 を公共住宅として継続し、 こころの健康を守り推進する基

法(仮称)の法制化を求める意国民のこころの健康を守る基本

(仮称)

提出に関する陳情

本法の法制化を求める意見書の

見書提出に関する陳情(*)

都市再生機構賃貸住宅(公団住

審議結果